

コウノトリ放鳥10周年

「片岡愛之助さんの『神の鳥』語り」開催

1月30日、出石永楽館で歌舞伎俳優の片岡愛之助さんと中貝市長による対談「片岡愛之助さんの『神の鳥』語り」を開催し、多くの市民が詰めかけました。

最初に市長が、放鳥後の10年間を振り返り、コウノトリ野生復帰の取り組み―湿地再生、環境経済、コウノトリ育む農法、子どもたちの環境学習など、コウノトリも住めるまちづくりについて説明しました。



▲「お帰りなさい」と迎えられる愛之助さん



▲笑いの渦に巻き込んだ対談

対談では、第7回永楽館歌舞伎の新作「神の鳥」で使われたコウノトリが登場。愛之助さんは、飛んでいるコウノトリを初めて見たときのことを「優雅で大きく感動した」「写真撮り忘れた」と話し会場を沸かせました。

また、コウノトリ野生復帰の取り組みについて「皆さんがコウノトリを全力で支えている姿は素晴らしいと思う。全力で豊岡を応援したい」と力強いエールをいただきました。（中貝市長の徒然日記」に関する記事あり）

コウノトリ子育て支援メッセージ夢へのチャレンジ！

「豊岡市少年野球教室」開催

1月31日、コウノトリ子育て支援メッセージ夢への

チャレンジ！豊岡市少年野球教室を市民体育館で開催しました。NOMOベースボールクラブの選手を講師に、野球未経験の5歳児から小学校3年生を対象にしたもので、49人が参加しました。普段接点のない同クラブとの交流を通して野球の楽しさを味わってもらおうと、今回初めて実

て実施しました。教室では、柔らかいボールを使い、止まったボールを打つ方法で、バッティングや試合を体験しました。



▲NOMOクラブの選手も驚く豪快なスイング

「広報とよおか10月号」

「県広報コンクール」で「広報まちづくり賞」を受賞

第63回兵庫県広報コンクールで、広報とよおか10月号（平成27年9月25日発行）が「広報まちづくり賞」を受賞しました。この賞は、兵庫県市町村振興協会が、魅力ある地域づくりに貢献する広報紙を表彰するもので、毎年、県内の1市1町に贈られます。

この受賞を励みに、広報とよおかは豊岡に暮らす価値、豊岡で暮らす自信と誇りを皆さんに発信し続けます。



▲広報とよおか10月号（平成27年9月25日発行）

「主な市政の動き」

1月

- 13日・豊岡市学校整備審議会
- 18日・個人番号カードの交付開始
- 20日・豊岡市地域公共交通会議
- 21日・豊岡ライフスタイルデザイン事業「豊岡シンポジウム」
- 28日・豊岡市男女共同参画社会推進懇話会
- 29日・豊岡市環境審議会
- 豊岡市都市計画審議会
- 30日・コウノトリ放鳥10周年「片岡愛之助さんの『神の鳥』語り」

2月

- 1日・豊岡市基本構想審議会
- ・小山市（栃木県）と「災害時相互応援に関する協定」締結
- ・市ホームページ「新しい地域コミュニティ」
- 「VISIT KINOSAKI」フランス語版開設
- 8日・ラムサール講演会

本格的なマイナンバー制度の運用開始

「個人番号カード(マイナンバーカード)」を初交付

マイナンバーは、国民一人一人が持つ12桁の番号で、1月から、全国の公共機関で運用が始まりました。

市町村の窓口では、希望者への個人番号カード(マイナンバーカード)の交付も始まり、本市では、1月18日に交付を開始しました。

マイナンバーカードは、個人番号を証明する書類や本人確認の際の公的な身分証明書

として利用でき、表面に、氏名、住所、生年月日、性別、顔写真を掲載しています。また、さまざまな行政サービスを受けることができるようになるICカードで、国税電子申告・納税システム(e-Tax)などに必要な電子証明書を標準で搭載しています。

本市での交付は、本庁市民課と各振興局市民福祉課で行っています。



▲初めてのマイナンバーカードの交付
(本庁市民課)

「小さな世界都市」の実現に向けさらなる推進

外国版の市観光ホームページ

2月1日、外国版の観光ホームページ「VISIT KINOSAKI」のフランス語版を開設しました。

本市のインバウンド(訪日外国人旅行者誘致)戦略は、欧米豪の個人旅行者をメインターゲットにしています。

その中でもフランスは、欧州の旅行トレンドを作っているといわれています。フランス本国からの誘客を図るとともに、フランスでの認知度を

高めることで、他の欧州の国々からの誘客を促進します。

ホームページは、既に開設している英語版を単に翻訳したものではなく、フランス人へのアンケート調査、聞き取りを行い、市場に訴求できるコンテンツや画像などを追加修正しています。

本市では、多言語での情報発信を行い、宿泊予約の獲得など、さらなる誘客の推進を図ります。



▲「フランス人は病気治療、健康増進、美容のために温泉地を多く訪れる」などの調査結果を参考に「ONSEN(温泉)」を説明(ホームページの一部)

フランス語版開設

中貝市長の徒然日記 ⑩

祝100回!

徒然日記100回達成です。あ、正座の必要はありません。寝転がり、おにぎりをほおばりながら、お読みください。

今年度は、コウノトリ放鳥10周年です。記念して、先月末、「片岡愛之助さんの「神の鳥」語り」を開催しました。会場の出石永楽館は、満員御礼でした。一昨年愛之助さんが演じられた新作「神の鳥(こうのとりの)」を軸に、愛之助さんに市長がトークを挑む、という無謀な企画でした。

元々上方歌舞伎のホープであつた愛之助さんは、「半沢直樹」で大ブレイクされ、最近話題満載、超売れっ子です。いえ、そんなことより、本業の歌舞伎でいよいよ高い評価を得ておられます。よく来ていたただけなものだと思います。「豊岡のことですから、喜んで」と愛之助さん。中「コウノトリは、幸せを運ぶ鳥です。愛之助さんは、神の鳥」を演じられて、プライ

ベートでも幸せなことがおありになったとか?」

愛「あ、はい、お陰様で」

中「この話はこれ以上しない方がいいですか?」

愛「あ、いえ、今年(の永楽館歌舞伎)は連れてきます」

「おお!」と会場はどよめき、大拍手がわきました。

花束の代わりに、無農薬のコウノトリ育むお米が生産者からプレゼントされました。

愛「私、コウノトリ米のイメージです」JAの尾崎組合長は手をたたいて大喜びです。

実は、この日の夕食は、コウノトリ米のおにぎりでした。とても気に入られて、「歌舞伎のときもお昼はこれがいいな」とおっしゃっていました。

コウノトリ野生復帰を成し遂げた最大の功労者は、実はコウノトリ育む農法を広げた農家の皆さんであり、逆に、コウノトリ野生復帰がもたらした最大の成果は、育む農法なのかもしれません。愛之助さんのその日のブログには、「今迄食べたお米の中で一番です」と書かれています。